MITSUBISHI

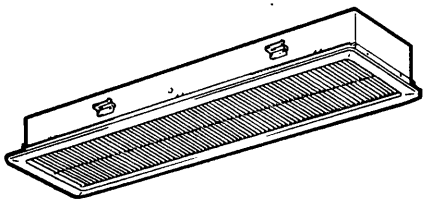
エアースイングファン

9705R870HH7101

形名

AS-808S・815S（標準形）
AS-808CS・815CS（冷気送風形）

取付・取扱説明書



もくじ

ページ

安全のために必ず守ること……2～3
外形寸法図……4
取付方法……4～11
使用方法……11
お手入れのしかた……11～12
アフターサービス……12
仕様……12

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。

取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

■この製品は単相100V50/60Hz用です。電源を確認して取付工事をしてください。

■この製品にはリモコンスイッチ（システム部材）が必要です。また、グリルはシステム部材となっていますので、別途ご用意ください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

ご使用の前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに添付別紙の三菱産業扇お問い合わせ窓口一覧表とともに保管してください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を⚠警告・⚠注意の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または建物・機械などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次の通りになっています。

⃠	禁　止		水ぬれ禁止		接触禁止		アース線接続
	分解禁止		水場での使用禁止		指示に従い必ず行う		回転物注意

⚠警告

- ●交流100V以外では使用しないでください。
  （火災・感電の原因となります）
- ●燃焼機器の燃焼部に風が直接当たるところで使用しないでください。
  （不完全燃焼したり、炎が消えたりして一酸化炭素中毒を起こすことがあります）

- ●製品に水をつけたり、水をかけたりしないでください。
  （ショートや感電の恐れがあります）

- ●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人は行わないでください。
  （火災・感電・けがの原因となります）
  修理はお買上げの販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。

- ●運転中は危険ですから、吹出口の中や可動部に指や物を入れないでください。
  （けがの恐れがあります）
- ●電源が入ったままで運転が停止しているときは、製品には絶対にふれないでください。
  （突然運転し始めてけがをする恐れがあります。また、感電の恐れがあります）

- ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に取付ける場合、製品およびボルトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付けてください。
  （漏電した場合発火することがあります）
- ●結線作業、ツマミ調整、ジャンパー線切断等を行う際は必ず分電盤のブレーカーを切ってください。
  （感電やけがをする恐れがあります）
- ●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切ってください。
  （感電やけがをすることがあります）

- ●可動部にふれないでください。
  （けがの恐れがあります）

⚠注意

●本体にぶらさがらないでください。
（落下によりけがをする恐れがあります）
●本体に異常な振動が発生した場合、使用しないでください。
（本体・部品の落下によりけがをする恐れがあります）

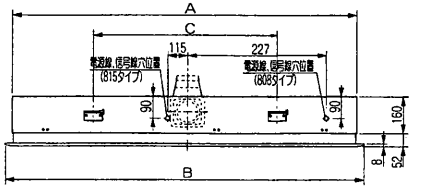
●浴室など湿気の多い場所（湿度90%以上）では絶対に使わないでください。
（感電および火災の原因となります）

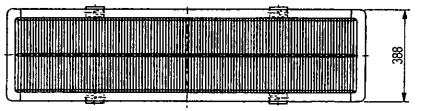
●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。
（落下によりけがをする恐れがあります）
●各部品は確実に取付けてください。
（落下によりけがをする恐れがあります）
●吊りボルト・ナット・ワッシャーは、必ず指定のものを使用してください。
（落下の原因になります）
●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。
（接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります）
●取付けおよびお手入れの際は手袋を着用してください。
（端面などでけがをする恐れがあります）
●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。
（絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります）

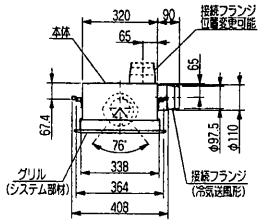
お 願 い

●取付場所が悪いと故障の原因になります。次のような場所には取付けないでください。
・45℃以上になる場所（リモコンスイッチ、速度調節器は40℃以上になる場所）　・屋外
・冷蔵室、冷凍室など低温場所　・酸性、アルカリ性ガスの発生、流入する場所
・油煙や蒸気の多い場所　・可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れのある場所
・繊維工場、製陶工場など多量の綿ぼこりや砂塵、粉塵の発生する場所
●配線系統にモーターブレーカー等を使用してください。
●冷気送風形のダクト取扱空気温度は12～45℃です。
●冷気送風形にてダクト接続する場合は、停止と同時に冷気を止めるために必ず電動式ダンパーを設置してください。
また、電動式ダンパーは結露による漏電の心配のないものを使用してください。

外形寸法図







■変化寸法表　単位(mm)

	形名 本体	形名 グリル	A	B	C	D	E
標準形	AS-815S	AS-G815S	1490	1551	800	800	1490～1510
	AS-808S	AS-G808S	760	821.4	644	644	760～780
冷気送風形	AS-815CS	AS-G815CS	1490	1551	800	800	1490～1510
	AS-808CS	AS-G808CS	760	821.4	644	644	760～780

付属部品

●天吊金具……4個
●小ネジ(M5)……8本
●小ネジ(M4タッピング)…2本
（ ）は冷気送風形　（6本）
●チェーン……2個
●パッキン(長)
815タイプ……8個
808タイプ……4個
●パッキン(短)……4個

冷気送風形のみ

●接続フランジ……1個
●断熱材……1個

取付方法

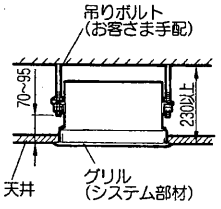
取付場所・取付面により異なりますが、いずれの場合も十分強度をもたせ、確実に取付けてください。

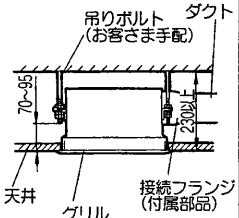
■お客さま手配部品（市販品）
①本体取付用に、吊りボルト(M8)とナット、ワッシャー(外径21㎜以上)をご用意ください。
②信号線や外部入力線には、電話線など無極性２線(PVC線単線φ0.65～φ1.2、またはより線0.3～1.25㎟)を使用してください。
③冷気送風形にてダクト接続する場合は、停止と同時に冷気を止めるために必ず電動式ダンパーを設置してください。また、電動式ダンパーは結露による漏電の心配のないものを使用してください。

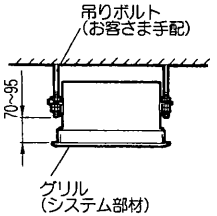
取付例

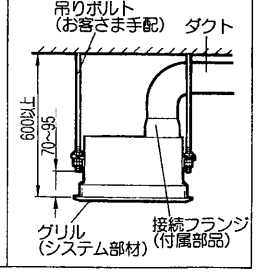
単位(mm)

天井埋込取付けの場合		露出取付けの場合	
標準形	冷気送風形	標準形	冷気送風形









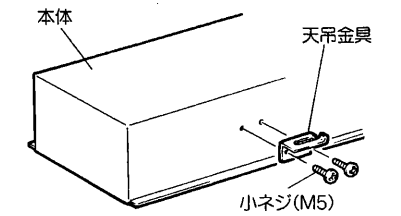
お願い

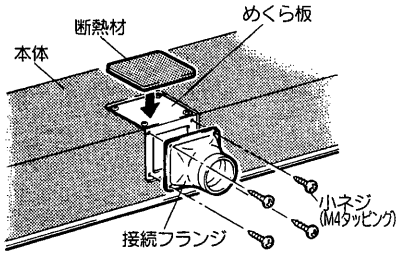
●製品はグリルが下側になるよう取付けてください。
●天井埋込およびダクト接続する場合は、天井面との高さに注意して設置ください。

取付方法 つづき

本体の取付け

1





製品本体の取付準備をします

⚠注意	❗	●吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使用してください。 (落下の原因になります)

1. 外形寸法図と取付例を参照し強固な取付場所に市販の吊りボルト(M8)を埋め込みます。
   - ●AS-808タイプの場合は、防振吊金具を間に取付けます
   - ●AS-815タイプで規定の長さを越える場合は、防振吊金具BFS-15BK2をご使用ください。

お願い

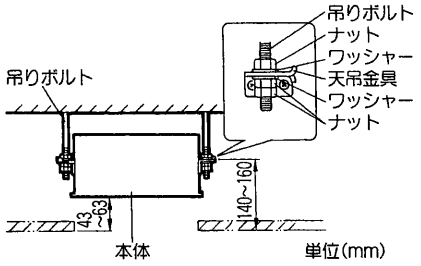
- ●吊りボルトの位置が、天井開口穴に対し片寄らないようにしてください。
- ●吊りボルトの長さは、標準形では600㎜、冷気送風形では800㎜を越えないようにしてください。

2. あらかじめ吊りボルトに市販のワッシャー(外径21㎜以上)・ナットを取付けておきます。
3. 天吊金具を付属の小ネジ(M5)で本体に取付けます。

冷気送風形の場合

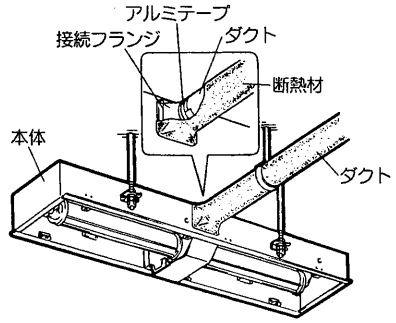
4. 接続フランジを付属の小ネジ(M4タッピング)で本体に取付けます。
   - ●ダクトを天井側から接続する場合は、めくら板を側面に付換えてから接続フランジを取付けます。
5. 付属の断熱材をめくら板に外側から貼ります。

2



本体が水平になるように本体を吊りボルトに取付けます。

3



冷気送風形の場合

ダクトを接続します。

1. 接続フランジにダクトをしっかり差し込み、風漏れのないよう市販のアルミテープでテーピングしてください。
2. ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊るしてください。
3. 接続フランジおよびダクトは、結露防止のための断熱処理を行ってください。
   - ●停止と同時に冷気を止めるために必ず電動式ダンパー(断熱処理してあるもの)を設置してください。

取付方法 つづき

電気工事

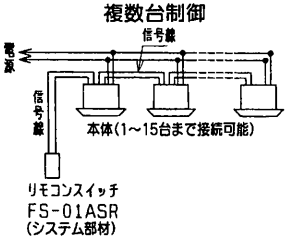
⚠警告	⊘	●交流100V以外では使用しないでください。 (火災や感電の原因になります)
⚠注意	❗	●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。 (接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)

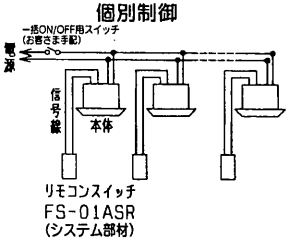
お願い

- ●モーター焼損保護のためモーターブレーカーなどの保護機器を使用してください。
  (モーターブレーカー等の選定にあたっては仕様の欄、12ページの電流値の1.2~1.5倍を目安にしてください)
- ●信号線の総延長距離は300m以内としてください。(通信異常の原因になります)

システム例

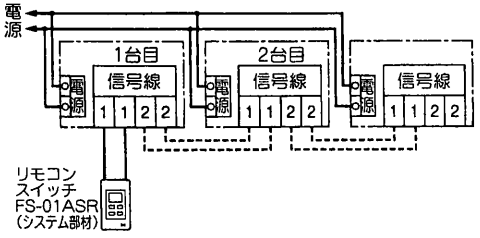
標準システムの場合





接続した台数分だけ(最大15台)まで一括制御できます。

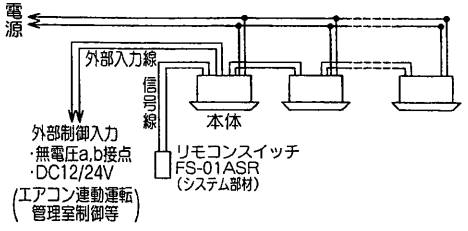
- ●個別に制御したい場合は、エアースイングファン1台に対してリモコンスイッチ1台を設置してください。



本体スイッチ設定

- ●リモコンスイッチを接続した本体は、SW1(REM接続時)を右側にしてください。

外部制御入力をする場合

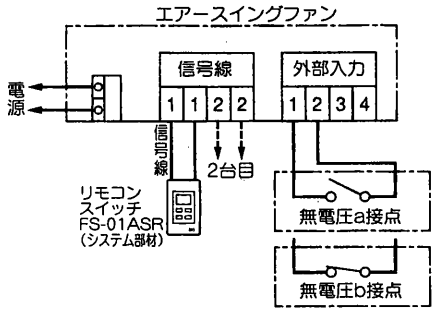


外部制御入力はリモコンスイッチを接続する本体に接続してください。
(複数台に外部入力はできません)

お願い

- ●外部制御入力の無電圧a,b接点と有電圧12/24Vは同時に使用することはできません。

●管理室等にて運転制御する場合（無電圧a接点またはb接点）



外部の無電圧接点によりエアースイングファンを運転停止させることができます。

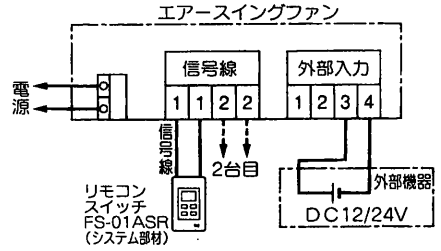
●風速、首振動作の設定はリモコンスイッチにてあらかじめ設定しておきます。

本体スイッチ設定

●リモコンスイッチを接続した本体は、SW1（REM接続時）を右側にしてください。

●無電圧b接点を使用する場合は、ジャンパー線J1を切断してください。

●空調機等の外部機器と連動する場合（DC12/24V有電圧信号）



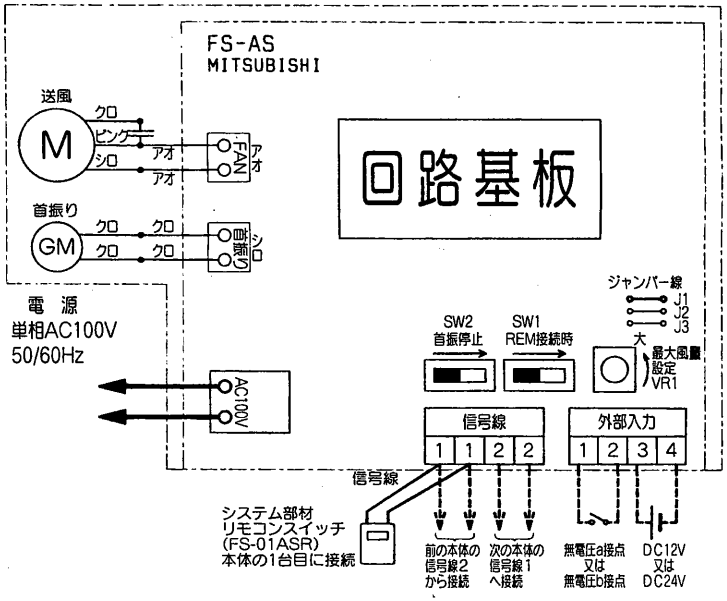
外部機器からの外部入力によりエアースイングファンを連動運転させることができます。

●風速、首振動作の設定はリモコンスイッチにてあらかじめ設定しておきます。

本体スイッチ設定

●リモコンスイッチを接続した本体は、SW1（REM接続時）を右側にしてください。

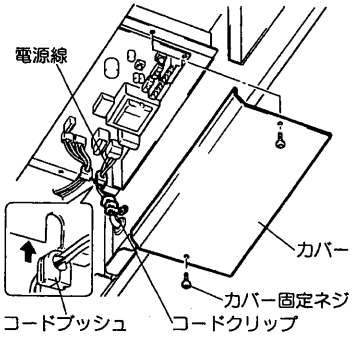
結線図



取付方法 つづき

本体電気配線

1

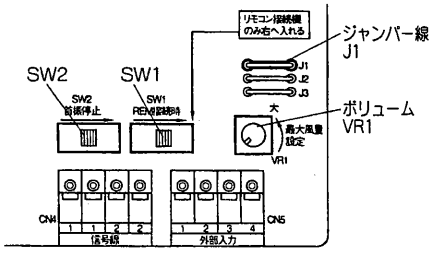


結線をします

1. カバー固定ネジ2本をはずし、カバーをはずします。
2. 電線を本体側面の穴から引き込み、システム例と結線図を参照して結線します。
   - ●電源線（単線φ1.2～φ1.6VFF）は先端11㎜皮ムキして、電源用速結端子に確実に差し込みます。
   - ●信号線と外部入力は先端11㎜皮ムキして、信号線、外部入力用速結端子に確実に差し込みます。
     適用電線は電話線など無極性2線（PVC線単線φ0.65～φ1.2、またはより線0.3～1.25㎟）を使用してください。
3. 電源線をコードブッシュにはめ込み、コードクリップで束ねてたるみをなくします。

2

⚠警告 ●結線作業、ツマミ調整、ジャンパー線切断等を行う際は必ず分電盤のブレーカーを切ってください。（感電やけがをする恐れがあります）



本体設定をします。

1.システム例と左図を参照して本体のスイッチ設定を行います。

2.他に次のような設定も可能です。

- ●特定の本体のみ首振停止をする場合
  （複数台制御のとき）
  首振停止したい本体のSW2（首振停止）を右側にしてください。
- ●特定の本体のみ風速制限をかける場合
  （複数台制御のとき）
  最大風量設定のボリュームVR1のツマミを適当な量だけ右側に回します。
  工場出荷時は左側いっぱい（最大ノッチ8）に設定されています。

お願い

●SW1はリモコン用給電スイッチのため、リモコンを直接接続した本体のみSW1を右側に入れてください。
2台以上で給電した場合、リモコンの故障等を生ずることがあります。

3

結線と本体設定が完了しましたら、再度接続とスイッチ設定を確認し、カバーを元通り取付けます。

4

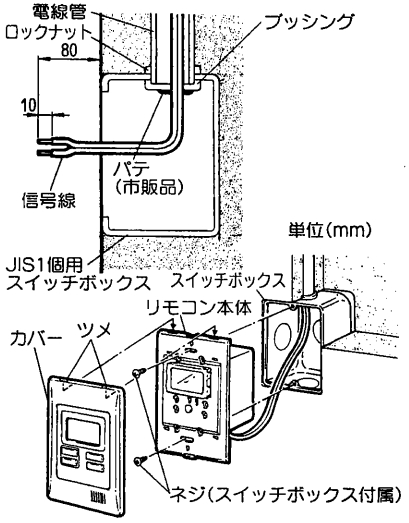
リモコンスイッチを取付けます。

■お客さま手配部品(市販品)

①取付けにはJIS C 8336に規定されるスイッチボックス1個用(カバーなし)をご使用ください。
②適用電線は電話線など無極性2線(PVC線単線φ0.65～φ1.2、またはより線0.3～1.25㎟)を使用してください。
③電線管は薄鋼電線管(JIS C 8305)呼び径15～25を使用してください。
④電線管に合うロックナット、ブッシング(JIS C 8330)を用意してください。

■工事上のお願い

- **●指定を越える太さの電線を速結端子に差し込まないでください。**
  (破損の恐れがあります)
- **●電線管の中には他の電線をいっしょに入れないでください。**
  (通信異常の原因になります)
- **●複数の信号線を多芯ケーブルで配線しないでください。**
  (通信異常の原因になります)
- **●配線の総延長は300m以内としてください。**
  (通信異常の原因になります)



配線をします。

1. あらかじめお客さま手配部品にて埋込スイッチボックスを埋め込み、エアースイングファンからの信号線を配線します。このときエアースイングファン本体の電源が入っていないことを確認します。
   - ●外気侵入による結露防止のため市販のパテで確実にシールします。

お願い

- **●電線管の取出し方向は、ボックスの上下方向のみで左右方向はできません。**

2. リモコンスイッチとの取付けは、システム部材のリモコンスイッチ(FS-01ASR)の取付・取扱説明書に従ってください。
   - ●外部制御入力をする場合は、リモコン運転モードを下記に従って設定します。

リモコン運転モード設定		動作説明
表示番号	運転モード	
01	ON／OFF連動	本体に接続された外部制御入力により、「運転」「停止」を行う。(a接点入力では、①－②間短絡にて運転、①－②間開放で停止。有電圧入力では、③－④間入力にて運転、無電圧で停止) リモコンによる後押し操作可能。
02	OFF連動	外部制御入力により、「停止」動作のみを行う。 (①－②間短絡にて、停止。①－②間開放では、運転は再開しない) リモコンによる後押し操作可能。
03	ON／OFF連動 (外部入力優先)	外部制御入力により、「運転」「停止」を行う。外部制御入力中はリモコンによる「停止」はできない。(①－②間短絡にて運転し、リモコン受付禁止。①－②間開放にて、停止) 停止中は、リモコン受付可能。

取付方法 つづき

5

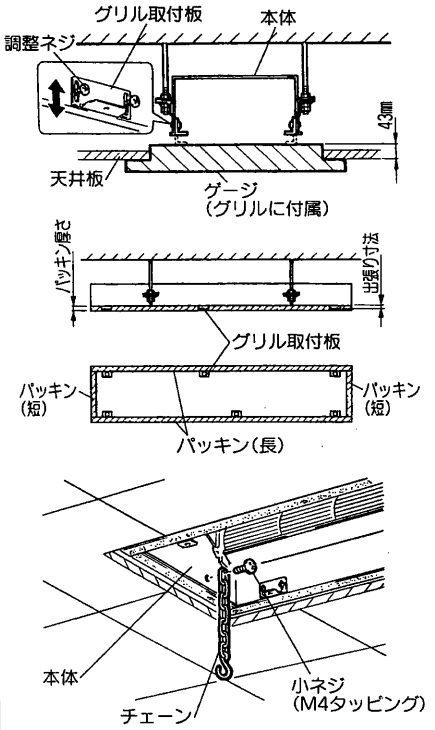
試運転を行います。

詳しくはリモコンスイッチ(FS-01ASR)の試運転に従って行ってください。

グリルの取付け

1

グリル取付けの準備をします。



1. あらかじめはられた天井板に、外形寸法図と取付例を参照し、開口穴を開けておきます。
2. グリル取付板の位置調整をします。
   グリルに付属のゲージを使用して、グリル取付板が天井から43㎜になるよう調整します。
   - ●調整ネジをゆるめてグリル取付板をゲージの位置まで下げ、調整ネジを締めて固定します。

お願い

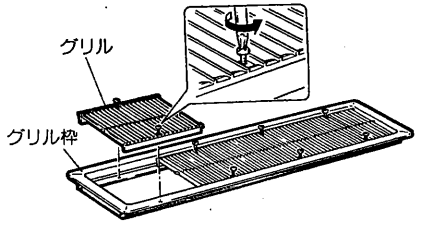
- **●調整ネジはしっかり締め付けてください。**
- **●調整代は最大20㎜です。**

3. パッキンを貼り付けます。
   パッキンは、ボックスとグリルの隙間をふさぐために貼り付けます。
   - ●斜線部にパッキンを貼り付けます。
   - ●パッキン1枚で不足のときは、重ねて2枚貼ります。
4. 本体に付属のチェーンを小ネジ(M4タッピング)で本体の両端に取付けます。
   (AS-808タイプは片側1か所)

2

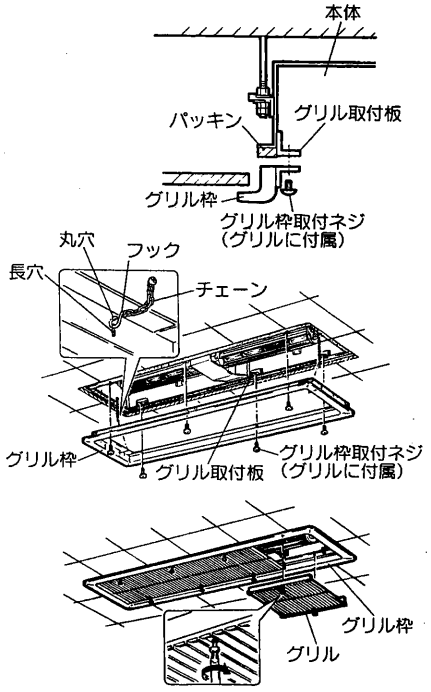
グリルを取付けます。

冷気送風形のグリル枠には植毛が施してあります。汚さないよう注意して扱ってください。



1. グリル固定ネジをゆるめ、グリルをグリル枠から取りはずします。

2



2. グリル枠を付属のネジを使ってボックスのグリル取付板に締め付けます。

3. グリル枠両端2か所(AS-808タイプは片側1か所)にチェーンを引掛けます。

お願い

●チェーンの取付けは確実に行ってください。チェーンの取付けが悪いとグリル枠落下の原因となります。

4. グリルをグリル枠に取付けます。

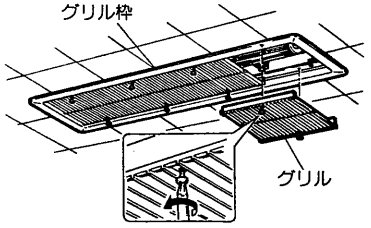
使用方法

システム部材のリモコンスイッチ(FS-01ASR)の取付・取扱説明書を参照してください。

お手入れのしかた　〈お客さま〉

⚠警告	❗	**●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切ってください。** (感電やけがをすることがあります)
⚠注意	❗	**●お手入れの際は手袋を着用してください。** (端面などでけがをする恐れがあります)

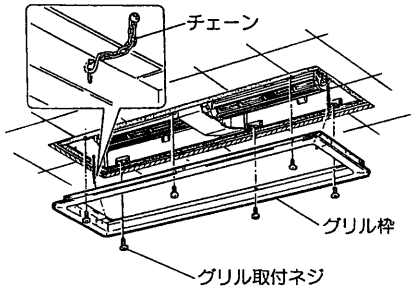
製品が高いところ(5mほど)に取付けられている場合は、必ず販売店へ依頼してください。
比較的低いところ(3mほど)に取付けられている場合は、両手で作業ができる安定した足場を設け、十分注意して行ってください。



グリルの清掃をします。

1. ドライバーでグリルをはずします。
2. 中性洗剤を入れたぬるま湯で洗ってください。

お手入れのしかた つづき



グリル枠の清掃をします。

標準形の場合

中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取ります。

冷気送風形の場合

植毛が施してあります。掃除機で表面のごみ、ほこりを吸い取ってください。
汚れのひどい場合は業者に依頼をして、グリル枠取付ネジとチェーンをはずし、グリル枠をはずして清掃します。
清掃は中性洗剤を入れたぬるま湯に2～3分浸し、その後ブラシで軽くこすって汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いをします。
柔らかい布で水気をふき取り乾燥させます。
お手入れ終了後は、取りはずしと逆の順序で元通り取付けます。

アフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店へお申し付けください。
なお、おわかりにならないときは、当社のお問い合わせ窓口(取付・取扱説明書同封の一覧表でお近くの支社、支店または各地区のサービスセンター)へご相談ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの三菱エアースイングファンの補修用性能部品を製造打ち切り後最低7年間まで保有しています。

仕　様

形名(本体)	電源	消費電力(W)		電流(A)		騒音(dB)		起動電流(A)		質量(kg)		首振回数(°)	首振回数(r/min)	
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	本体	グリル		50Hz	60Hz
AS-808S	単相100V	36.5	37.5	0.38	0.38	33	37	0.61	0.59	10.5	2.8	76	3.75	4.5
AS-815S		44.5	51	0.48	0.52	37	40	0.91	0.85	17.5	4.3			
AS-808CS		36.5	37.5	0.38	0.38	33	37	0.61	0.59	11.0	2.9			
AS-815CS		44.5	51	0.48	0.52	37	40	0.91	0.85	18.0	4.4			

※風量はオリフィスチャンバー法によるフリーエアー時の最大値で、吹出角度により異なります。
※騒音は吹出口直下3m地点Aスケール値です。

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508　岐阜県中津川市駒場町1-3　電話0573-66-2111